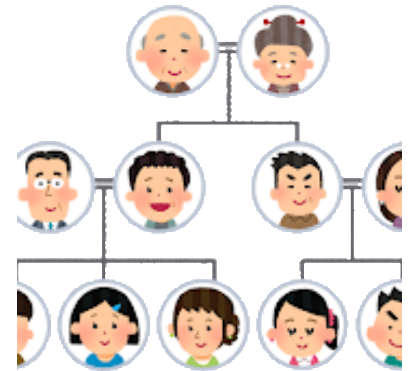


🌸 がんと遺伝

がんは、おもに「環境要因」と「遺伝要因」によって遺伝子が傷つくことで発生するといわれます。『環境要因』には、食生活・喫煙・飲酒などの生活習慣やホルモンやウイルス感染などがあります。『遺伝要因』とは、生まれたときから、がんの発生と強く関わる遺伝子に変化（病的バリエーションや病的変異といいます）を持っている場合を指します。

この遺伝子の変化に環境要因が加わり発生するのが、遺伝的ながん＝遺伝性腫瘍になります。遺伝性腫瘍は、全てのがんの約5%といわれています。また、遺伝性腫瘍の原因となる先天性の病的バリエーションの多くは、50%の確率で次の世代に受け継がれます。



🌸 リンチ症候群とは

リンチ症候群は、遺伝性腫瘍の1つです。DNA複製過程で生じたエラーを修復する蛋白の1つであるミスマッチ修復（MMR）蛋白をコードする遺伝子（MMR遺伝子）に、生まれたときから病的バリエーションを認め、大腸がんや子宮体がん、卵巣がんを発症する可能性が高くなります。その他、胃がんや膀胱がんの発症リスクも高くなるといわれています。

🌸 子宮体がん・卵巣がんにおけるリンチ症候群の拾い上げについて

リンチ症候群で最も多いのが大腸がんであり、大腸がんの方におけるリンチ症候群の拾い上げの基準は確立しております。その一方で、大腸がんについて多いとされる子宮体がん、卵巣がんの方においては、有効な拾い上げの基準がありません。そこで、この研究では、子宮体がん・卵巣がんにおける有用なリンチ症候群の拾い上げ方法を見つけることを目的としており、多くの子宮体がんおよび卵巣がんの方にご協力いただきたいと考えております。

臨床研究のながれ

この研究にご興味
がある方は、

- ・診療の担当医に伝えてください。
- ・担当医が、臨床研究の説明の日程を調整します。
- ・研究の説明は、当日行うこともあります。

まずは、説明を聞きたいだけでも大丈夫です。

研究の説明・同意
⇒参加

- ・研究の具体的な内容について、ご説明します。
- ・それで同意いただければ、研究参加となります。
- ・以前に採取した組織を使って、検査を行います。
- ・検査についての詳細は説明時にお話します。

1-2ヵ月

結果説明
遺伝カウンセリング

- ・検査の結果をご説明いたします。
- ・検査の結果および病歴や家族歴などから、リンチ症候群の可能性が高いと考えられた方に、遺伝カウンセリングをお勧めします。
- ・ご希望された方に、遺伝カウンセリングを行います。

遺伝子検査

- ・遺伝カウンセリングの結果、リンチ症候群に関わる遺伝子の検査を希望された方に行います。
- ・検査は血液で行います。
- ・検査の費用をご負担いただくことはありません。

約1ヵ月

遺伝カウンセリング
(結果説明)

- ・検査の結果をご説明いたします。
- ・結果に応じて、ご自身や血縁の方の健康管理についてアドバイスいたします。

- この研究での遺伝カウンセリングや検査の費用は、全て研究実施施設が負担しますので、患者様にご負担いただくことはありません。
- 研究に参加されない場合でも、がんの遺伝について気になっている方は、一般的な診療として遺伝カウンセリングを受けることができますので、ご相談ください。

ご質問などがございましたら、ご遠慮なくおたずねください。

【お問い合わせ先】

高知大学医学部附属病院 産科婦人科 泉谷知明・牛若昂志・氏原悠介・松浦拓也
同臨床遺伝診療部 認定遺伝カウンセラー® 田代真理
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
TEL：088-866-5811